

# 2024年度環境経営レポート



(対象期間:2024年 8月~2025年 7月)



発行日:2025年 8月29日

改定日:2025年 12月6日



株式会社塚本電気設備

## 株式会社塚本電気設備

# 環境経営方針

当社は、電気設備工事業の事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。また、環境経営システムの継続的改善を図ってゆきます。

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油）
- 3 . 事業活動に伴う廃棄物の削減を推進します。
- 4 . 建設現場等での建設リサイクルを推進します。
- 5 . 水道水使用量の削減を推進します。
- 6 . 環境に配慮した電気工事を推進します。
- 7 . 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2016年 6月 9日

改定4：2025年 8月 26日

代表取締役社長

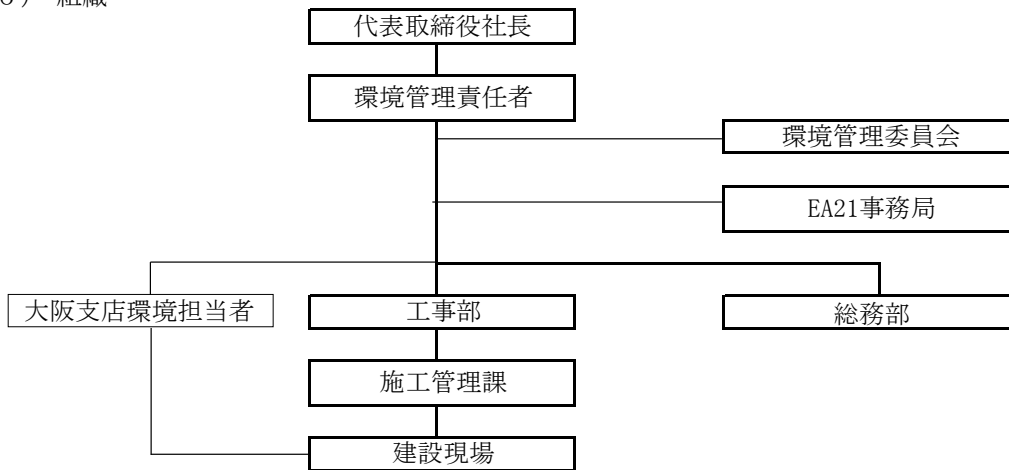
塚本 高嗣

## II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社塚本電気設備  
代表取締役社長 塚本 高嗣
- (2) 所在地  
本社 〒671-0232 兵庫県姫路市御国野町御着721-6  
資材置き場 〒671-0232 兵庫県姫路市御国野町御着317-2  
大阪支店 〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋2丁目北1番21号  
八千代ビル東館8階
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先  
責任者 代表取締役副社長 塚本 恭央 TEL:079-253-3133  
担当者 清水 順子 FAX:079-253-0676  
Email:info@tsukaden.co.jp
- (4) 事業内容  
電気工事、消防設備工事、電気通信工事及び管工事などの設計・施工、機械器具設置工事業、  
電設資材及び家庭用・工業用電気機器の販売
- (5) 事業の規模  
設立 創業 昭和36年10月  
法人成 平成5年7月  
資本金 4,000万円  
建設業 年間工事完成高 44,400万円(令和6年度)

	本社	資材置き場	大阪支店	合計
従業員	16名	-	1名	17名
延べ床面積	412.88㎡	101.8㎡	29.09㎡	543.77㎡
敷地面積	354.67㎡	161.8㎡	29.09㎡	545.56㎡

(6) 組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	代表者による経営における課題とチャンスの明確化 環境経営に関する統括責任及び環境経営方針（環境理念・行動指針）の制定と周知 環境管理責任者及び環境管理委員長の任命 環境経営システムの実施・管理に必要な資源の準備 環境経営システムの全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 （環境管理委員長）	環境経営システムの構築と運用 環境教育計画、環境経営目標及び環境経営計画の承認 代表者への環境経営システムの実施状況報告 外部からの苦情・要望等の受付と対応、結果の記録 環境経営レポートの発行 緊急事態の対応策作成と訓練実施計画の立案と実施 法規制等の遵守状況をチェック 環境管理委員会の設置と運営
EA21事務局	環境管理責任者の補佐 環境関連法規制等取りまとめ表作成及び環境経営レポート作成、備付及び地域事務局送付 環境教育計画訓練案作成・実施、環境経営目標及び環境経営計画の立案・作成 環境経営状況の収集・取り纏め・課題の整理（環境負荷チェック及び取組チェック含む。） EA21に関する活動の諸手続・窓口担当及び文書類の管理
環境管理委員会 代表者以外の全従業員	EA21の運営機関 環境経営目標及び環境経営計画の審議 環境経営計画の改善状況の審議
環境管理副委員長 各部門長	省エネ（電力・燃料等）、水資源投入量及び紙資源等工事資材削減の推進 一般廃棄物の分別徹底と削減の推進 工事現場の苦情等応急対応及び環境負荷低減の推進（騒音、粉じん、廃棄物管理等） ・産業廃棄物削減の推進及び自動車燃費の向上推進・工事担当者及び協力業者員への教育訓練 ・環境管理責任者への工事における環境状況等の報告・緊急事態訓練実施
従業員	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(7) 事業年度

8月～翌年7月

### Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社塚本電気設備  
対象事業所: 本社、資材置き場、大阪支店  
活動: 電気工事、消防設備工事、電気通信工事及び管工事などの設計・施工、  
機械器具設置工事業、電設資材及び家庭用・工業用電気機器の販売

### Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	29,903	29,603	29,304	25,322	28,177
電力	kWh	14,244	14,943	14,084	14,482	16,142
ガソリン	L	8,167	7,624	6,014	6,223	6,742
軽油	L	1,850	1,628	1,554	1,783	2,143
廃棄物排出量	kg	20,885	24,350	22,329	25,292	36,022
一般廃棄物	kg	788	874	641	721	757
産業廃棄物	kg	20,097	23,476	21,688	24,571	35,265
水使用量	m <sup>3</sup>	70	81	72	71	87

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2022年度関西電力公表の  
調整後排出係数 0.434kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

注) 化学物質は使用していない。

## V. 環境経営目標及びその実績

### (1) 中期目標

項目	年度	基準値	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		基準年度				
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	29,903	28,707	28,408	28,109	27,810
	対基準	2020年	△4%	△5%	△6%	△7%
電力使用量削減	kWh	14,244	13,674	13,532	13,389	13,247
	kg-CO <sub>2</sub>	6,182	13,127	12,855	12,586	12,320
ガソリン 使用量削減	L	8,167	7,840	7,759	7,677	7,595
	対基準	2020年	△4%	△5%	△6%	△7%
軽油 使用量削減	L	1,850	1,776	1,758	1,739	1,721
	対基準	2020年	△4%	△5%	△6%	△7%
II. 廃棄物の削減						
一般廃棄物 削減(焼却)	kg	788	756	749	741	733
	対基準	2020年	△4%	△5%	△6%	△7%
産業廃棄物排出量 削減 (混合廃棄物)	kg	24,571	23,588	23,342	23,097	22,851
	対基準	2023年	△4%	△5%	△6%	△7%
建設リサイクル率 の推進	%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%
	対基準	(2021年度基準)	維持	維持	維持	維持
III. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>	70.0	67.2	66.5	65.8	65.1
	対基準	2020年	△4%	△5%	△6%	△7%
IV. 環境に配慮した電気工事 (照明器具のLED化)	台数	934	963	973	983	994
	対基準	(2021年度基準)	+3.0%	+4.0%	+5.0%	+6.0%

注1) 化学物質は使用していないため、目標に設定しない。

注2) 建設リサイクル率の推進については、2021年度にリサイクル割合の見直しと

蛍光灯排出量の記録を始めた為、2021年度を基準値として用いる。

注3) 環境に配慮した電気工事について、達成手段として「LED照明の推進」に加え

「人感センサーの推進」「省エネエアコンの推進」を追加した為、

2021年度を基準年度に用いる。

注4) 2022年5月より産業廃棄物の電子マニフェストへ移行し、

確定数量が確認できるようになったため2024年度より2023年度基準年度とする。

(2) 2024年度の実績

項目	年度	2024年度の実績			
		目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	28,707	28,177	102%	○
	対基準	△4%	△5.8%		
電力使用量削減	kWh	13,674	16,142	85%	×
	kg-CO <sub>2</sub>	2,170	7,006		
	対基準	△4%	+13.3%		
ガソリン 使用量削減	L	7,840	6,742	116%	○
	kg-CO <sub>2</sub>	18,379	15,642		
	対基準	△4%	△17.4%		
軽油 使用量削減	L	1,776	2,143	83%	×
	kg-CO <sub>2</sub>	4,630	5,530		
	対基準	△4%	+15.85%		
II. 廃棄物削減					
一般廃棄物 削減(焼却)	kg	756	757	100%	○
	対基準	△4%	△3.9%		
産業廃棄物排出量 削減 (混合廃棄物)	kg	23,588	35,265	67%	×
	対基準	△4%	+43.5%		
建設リサイクル率 の推進	%	91.0%	94.2%	104%	○
	対基準	維持	+3.5%		
III. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>	67.2	87	77%	×
	対基準	△4%	+24.34%		
IV. 環境に配慮した電気工事	台数	963	1,043	108%	○
	対基準	+3%	+11.7%		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度=目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度=実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成(達成度100%以上)、△：やや未達成(同95%~100%未満)、×：未達成(同95%未満)

注3) 電力使用量の削減については、記録的な猛暑に伴い、従業員の健康を守るため空調使用を強化した結果、電力使用量が増加し、削減目標の達成には至りませんでした。今後は快適性と省エネの両立を図る対策を検討してまいります。

注4) ガソリン使用量の減少については、近場の現場で乗り合わせが多かった為。

注5) 軽油使用の削減について、軽油給油車の増加がありました。今後は燃料使用量の推移を注視し、目標値の適性を図るため、変更を検討しています。

注6) 産業廃棄物排出量 削減(混合廃棄物)については、混合廃棄物の排出量は、大きな工事の実施に伴い増加しました。今後も分別の徹底や再資源化の促進を通じて、排出量の抑制に努めてまいります。

注7) 水使用量の削減について、従業員数の増加によるものと思われる。今後は目標値の適性化を図るため、変更を検討しています。

注8) 環境に配慮した電気工事の増加については、照明器具の取替の工事が多く実施されたことによるものです。

## VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> (目標達成)		
(下記の通り)		
<b>電力使用量の削減</b> (目標未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	猛暑日が続いた為、適正温度を守る事が難しかった。健康状態を害さない様に、今後も気温に合わせて臨機応変に温度調整をしていく。
・不要照明の消灯	◎	不要照明の消灯を徹底する。今後も、こまめに消灯を心がける。
・設備の空運転禁止	◎	使用後は電源を切る事で未使用時の空運転を防ぐことができた。次年度も、左記取組を継続する。
<b>ガソリン使用量の削減</b> (目標達成)		
・急加速の抑制	◎	安全運転とエコを考え、取組めた。次年度も、左記取組を継続する。
・移動コースの効率化	◎	最短ルートで運転するように心がけが来ている。次年度も、左記取組を継続する。
・冷暖房抑制	◎	車内での休憩を出来るだけ省き、休憩室を協同で利用する事で、取り組みが継続できている。次年度も、左記取組を継続する。
<b>軽油使用量の削減</b> (目標未達成)		
・急加速の抑制	◎	安全運転とエコを考え、取組めた。次年度も左記取組を継続する。
・移動コースの効率化	◎	最短ルートで運転するように心がけが来ている。次年度も、左記取組を継続する。
・冷暖房抑制	◎	車内での休憩を出来るだけ省き、休憩室を協同で利用する事で、取り組みが継続できている。次年度も、左記取組を継続する。
<b>一般廃棄物の削減</b> (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	◎	市の分別に沿ってゴミの分別を徹底した。今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
・ミスコピーの防止	◎	オンデマンド印刷うまく利用し、印刷前の確認ができています。次年度も、左記取組を継続する。
・裏紙の使用	◎	書類の電子化も進んでいる為、裏紙自体少なくなってきたが、今後も左記取組を継続する。
<b>産業廃棄物発生量の削減</b> (目標未達成)		
・分別によるリサイクルの推進	◎	分別ができ、状態が把握できている。次年度も、左記取組を継続する。
・資材の効率的な使用	◎	再利用可能な仮設資材は再利用を徹底している。次年度も、左記取組を継続する。
<b>建設リサイクルの推進</b> (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	今後も分別を徹底しリサイクルに努めたい。
・仮設資材の再利用の推進	○	再利用可能な仮設資材は再利用を徹底している。次年度も、左記取組を継続する。
<b>水使用量の削減</b> (目標未達成)		
・節水の周知徹底	◎	節水の呼びかけにより意識づけが来ている。次年度も、左記取組を継続する。
・洗車の節水	△	バケツに水を溜めて使用する等して工夫できたが、社用車台数も増えた為使用量も増加してしまった。次年度も、左記取組を継続する。
・樹木水やりの効率化	○	水やりの頻度を決め、ペットボトルを使用して量を一定にする等工夫が来ている。次年度も、左記取組を継続する。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。次年度も、左記取組を継続する。
<b>環境に配慮した電気工事の推進</b> (目標達成)		
・照明器具のLED化・人感センサー・省エネエアコンの推進	○	今後もより一層エコを意識し、左記取組を推奨していく。
<b>目標や未達成・未達成の評価内容</b>		
電力使用量の削減目標未達成：	基準値年数より従業員数増加によりやや未達成。目標値の見直しを検討する。	
軽油使用量の削減目標未達成：	軽油給油車が2台に増えたことにより、軽油使用量が増加しました。今後は燃料使用量の推移を注視し、効率的な運用を心がけてまいります。	
産業廃棄物発生量の削減目標未達成：	工事の増加により産業廃棄物排出量が増加した。今後も引き続き、正しい分別と排出量の削減に努めてまいります。	
水使用量の削減目標未達成：	基準値年数より従業員数増加により未達成。目標値の見直しを検討する。	

※達成状況は、目標達成の達成状況ではなく取組に対しての達成状況の評価としています。

## Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、電子マニフェストの登録	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
PCB特別措置法	PCB含有率調査申請請負 (含有調査申請のみ、引き取りなし)	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進（発電機）	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の廃棄時の適切な処理、定期点検と記録の保存	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は概ね遵守されていることを確認しました。

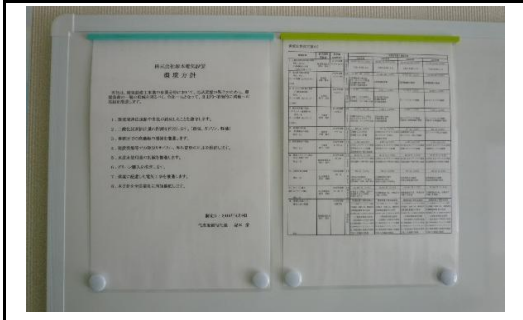
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

関係当局より違反等の指摘もありませんでした。

## Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

<p>2024年度は、2023年度同等程度の売り上げ記録を達成いたしました。          昨年度に比べ建設リサイクルの推進の改善が達成できている点に関して高く評価します。          今年度は、熱中症対策の義務化され、様々な熱中症対策を施しました。          作業着のクールビズ化、WBGT計の導入、経口飲料水を必ず各現場の持参させる事等実施しました。          やはり今年も昨年以上の気温上昇でありながら、一人も熱中症にならなかった事をまずは高く評価します。          そのような中、電力使用量、水使用量、軽油使用料が若干ではありますが上がっています。          従業員数の増加もありますが、現状、もちろん環境目標より、従業員の健康が優先的に考えれば          このような結果にならざる負えない状況です。          しかしながら、環境も意識しながら次年度以降も新たな暑さ対策を講じるよう良い商品、機材を導入していこうと          考えております。          尚、事業活動に大きな変更がないため、環境経営方針・目標・計画及び実施体制について変更いたしません。</p> <p style="text-align: right;">2025年 8月 26日          代表取締役社長 塚本 高嗣</p>
---

## Ⅷ. 環境への取組の紹介



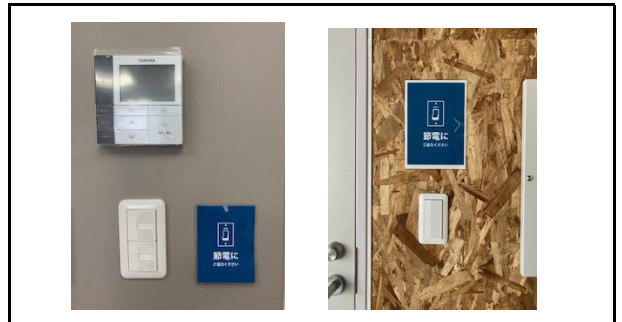
<エコアクション掲示板>



<ごみの分別>



<省エネ>



<省エネ>



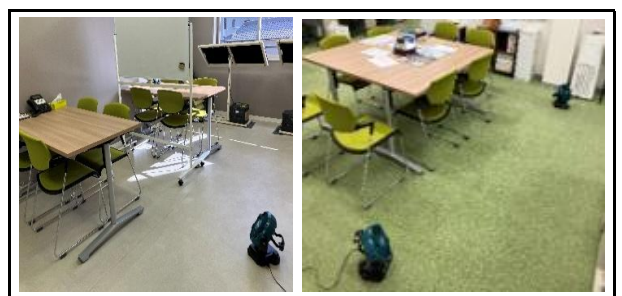
<節水ポスター掲示>



<節水>



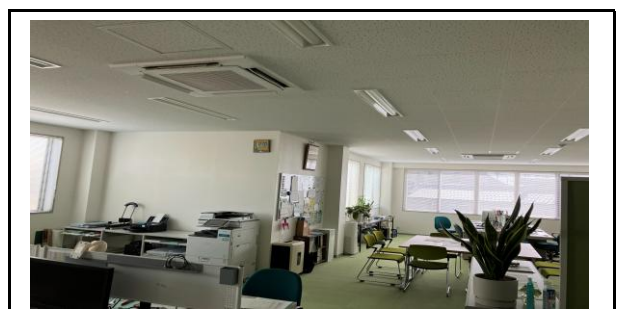
<エアコンとサーキュレーターの併用>



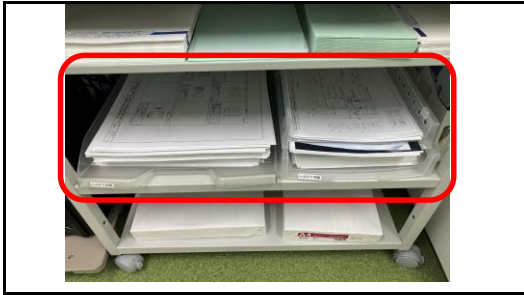
<エアコンとサーキュレーターの併用>



<節電への取組：不要照明の消灯>



<節電への取組：昼休み消灯状況>



<裏紙の活用>



<書類廃棄の分別>



<建設リサイクルの推進>



<建設リサイクルの推進>



<産業廃棄物運搬車両①>



<産業廃棄物運搬車両②>



<産業廃棄物運搬車両③>



<エコドライブ10ポスター掲示>